

今月の3冊 プラス +1



認知症 plus 地域共生社会

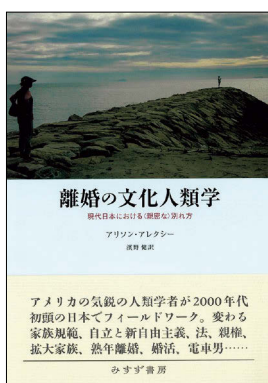
つながり支え合うまちづくりのために私たちができること

編：近藤尚己、五十嵐歩

発行：日本看護協会出版会

定価：2860 円（税込）

地域共生社会とは、制度や分野ごとの縦割りや、支え手受け手の関係性などを超え、ともに社会をつくること。医療・介護・福祉等の専門職や当事者・家族などによる認知症への具体的な取り組みから、つながり、支え合うまちづくりへのヒントが学べる。



離婚の文化人類学

現代日本における〈親密な〉別れ方

著：アリソン・アレクシー

訳：濱野健

発行：みすず書房

定価：5280 円（税込）

アメリカ気鋭の人類学者が 21 世紀初頭の日本でフィールドワークを実施、“離婚”という切り口から今の日本を考察した。30 人近い人々が語った“離婚”から、現代日本社会の姿が見えたという。異文化の調査者が、批判的だが愛情のこもった視線で捉えたこの国の姿とは？



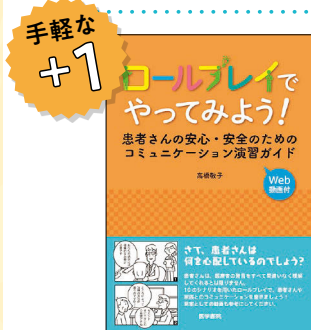
東大教授、若年性アルツハイマーになる

著：若井克子

発行：講談社

定価：1540 円（税込）

脳外科医で東大教授でもあった夫が 50 代で若年性認知症になった。早期退職を余儀なくされ、長い苦悩を経て病を受け入れた夫婦の軌跡を、妻が克明に描き出す。夫は地位も知識も言葉さえも失うことで「あるがまま」を得て、人生の本質に触れたように、妻には感じられるのだった。



ロールプレイでやってみよう！

患者さんの安心・安全のためのコミュニケーション演習ガイド

著：高橋敬子 発行：医学書院

定価：2750 円（税込）

患者や家族の思いを理解し、医療者として伝えなければならないことを伝える 10 の場面が設定され、ロールプレイ演習が行える 1 冊。医療者が模擬患者に扮する際の注意点にも言及。ロールプレイの雰囲気やイメージが分かる付録の web 動画付。